



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

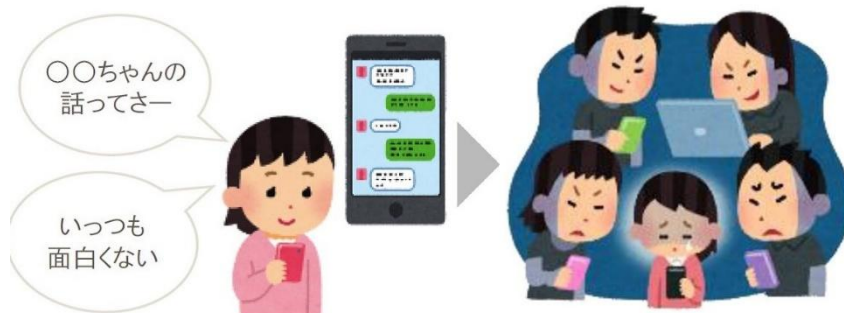
Knowledge(知識・経験からの情報)
 Action(行動・活動)
 Kindness(親切・思いやり)
 Open-minded(広い心・偏見のなさ)
 Growth(成長・発展)
 Appreciation(感謝・正しい評価)
 Wellness(心身の健康・生活のバランス)
 Answer(答えを見出す)

スマートフォンや SNS は「便利なツール」？ それとも…？

～インターネット・トラブル防止教室 6/11(木)を終えて～

現在の教育現場において、避けて通れない大きな課題が「ネット・SNS をめぐる生徒間のトラブル」です。言葉のすれ違いによる喧嘩やいじめ、不適切な写真・動画の拡散、夜遅くまでの利用による生活習慣の乱れなど、SNS に起因する問題は後を絶ちません。場合によっては相手の心を深く傷つけ、学校生活にも深刻な影響を及ぼす場合があります。

本校では、6月11日(木)の5校時、全校生徒を対象に「インターネット・トラブル防止教室」を開催しました。今回は、東播少年サポートセンターから警察関係の講師をお招きし、実際に中学生の間に起きたインターネットに起因する迷惑行為や犯罪について、具体的な事例をもとに教えていただきました。スマートフォンのメリットとデメリットについても、詳しく比較しながら教えていただいたので、とても分かりやすかったです。



“SNS いじめ” は、日々の様子や会話で早期発見・解決を

特に、SNS に関するトラブル等についても事例を挙げて教えていただきました。不適切な利用が、人間関係の問題やいじめに発展する可能性があるため、特に次の「3つのポイント」を理解して、正しい利用方法を守ってほしいとのことでした。

①画面の向こうにいる「人の心」を想像する

文字だけのやり取りは、自分が思っている以上に冷たく相手に伝わります。「自分が言われて嫌なことは書かない」という基本を、いま一度徹底しよう。

②「拡散された未来」を想像する

一度ネット上に流出した画像や言葉は、完全に消すことはできません。「一生残っても後悔しないか」を、投稿の前にもう一度見直してみよう。

③「使っている時間」の価値を想像する

夜遅くまでのスマホ利用は、大切な睡眠や成長の機会を奪います。ネットの向こうのつながりを優先するあまり、目の前の家族やリアルな友だちとの時間を疎かにしないようにしましょう。

人権担当の先生から、SNS で若者の間で流行しているという、特定の人種に対する差別発言についても話をしています。

保護者の皆様へのお願い

- ①家庭で話し合う
- ②定期的に見直す
- ③制限できるツールを活用する

学校でも継続して指導を行っておりますが、インターネットの世界は24時間、生徒たちのスマートフォンの中で動いています。生徒たちをトラブルから守るために学校の力だけでは限界があります。最新の電子機器は、大変便利なツールですが、使用方法を一步間違えれば凶器にもなり得ます。ぜひ、この機会に「家庭でのルール」を見直していただき、学校と家庭が危機感を共有し、一緒に子どもたちを守っていきましょう。